

「雪が降り、スキー客は減少している。スキー場の利用も好調だ。白馬八方尾根スキー場などを経営する白馬観光開発(白馬村)は「足元で中華圏の観光客が外国人客の5割程度に増えた」と(和田寛取締役)。

スキー場の利用も好調だ。白馬八方尾根スキー場などを経営する白馬観光開発(白馬村)は「足元で中華圏の観光客が外国人客の5割程度に増えた」と(和田寛取締役)。

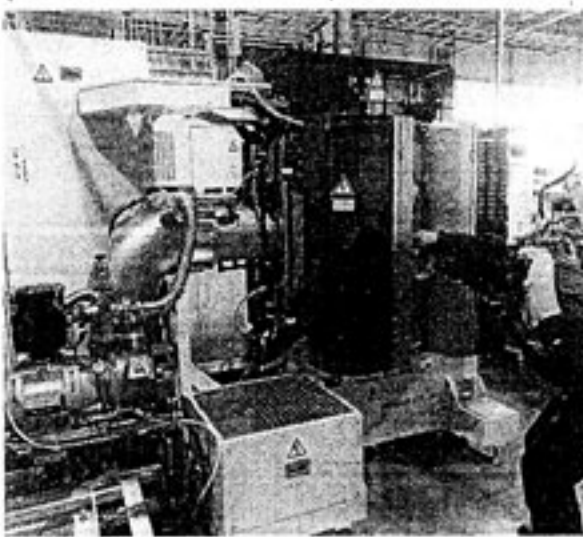
スキー場の利用も好調だ。白馬八方尾根スキー場などを経営する白馬観光開発(白馬村)は「足元で中華圏の観光客が外国人客の5割程度に増えた」と(和田寛取締役)。

企業「次の一手」

岡谷熱処理工業(岡谷市)が工具や金型を硬くする表面処理で、モリブデンやシリコンなどの新素材を使った技術の開発に取り組んでいる。必要な炉なども新たに導入して実験を重ね、航空宇宙関連部品に使われる炭素繊維素材を加工しやすくする工具、金型をつくる「エレクトロニクス」が目標だ。独自技術の確立により表面処理部門で新たな顧客の獲得を目指す。

岡谷熱処理工業

新素材で硬度を高める表面処理の試行に取り組む(岡谷市)



金型・工具新素材で膜

ける。セ氏500度以上に4倍にできる。した真空炉内で放電し、チタンやアルミ、クロムを0.000万円を推し、全体の売上高(2016年9月期)3割(マイクロは10で4億円)の3分の1弱を占める安定した収益源だ。半面、航空機の機体の材料や高張力鋼の強度を増すために添加物として使うモリブデンとニオブ、表面処理で強度を増すために使うシリコンだ。2016年5月8日に約9000万円を投資し、最新の真空炉も購入する。チタンやモリブデンなど表面処理用の素材の組み

ける。セ氏500度以上に4倍にできる。した真空炉内で放電し、チタンやアルミ、クロムを0.000万円を推し、全体の売上高(2016年9月期)3割(マイクロは10で4億円)の3分の1弱を占める安定した収益源だ。半面、航空機の機体の材料や高張力鋼の強度を増すために添加物として使うモリブデンとニオブ、表面処理で強度を増すために使うシリコンだ。2016年5月8日に約9000万円を投資し、最新の真空炉も購入する。チタンやモリブデンなど表面処理用の素材の組み

木曾観光の支援策延長

17年度予算案 県が一部公表

長野県は30日、2017年度予算案に盛り込む14年の御嶽山噴火により、曾地域に観光客を呼び込むこと正式に決めた。

むための支援策の延長を決定し、事業費として4000万円を計上する。産学官金の信州創業応援プラットフォーム構築など創業支援事業費として1023万円を盛り込むことも正式に決めた。

長野支局 0266-2332-2111
松本支局 0266-336-3007

(一丸忠靖)

長野

木曾地域の観光復興対策事業では19年末までに観光利用者を266万人(15年度実績は212万人)、観光消費額を105億9千万円(同90億9千万円)に増やす目標を掲げている。16年度までとっていた事業費を17年度も計上し、復興を後押しする。

17年度予算案にはこのほか、県庁や合同庁舎の県民ホールなどの無料公衆無線LAN「Wi-Fi」(ワイファイ)の整備や、伝統的工芸品の外国語版パンフレットの作成などを盛り込んだ。

17年度予算は2月2日までの知事査定を経て同8日に全体を公表、同16日に開会する県議会の2月定例会で審議される。